

10 安全上の注意



組み立てる前に、よくお読みください。

安全上の注意事項および組立手順を十分に理解し、すべて守ってください。
守らない場合、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。



金属は電気を通します。
はしごやスタビライザーは、材質にかかわらず電線に接触させないでください。



過負荷禁止：
はしごの耐荷重ラベルに記載された最大荷重を超えないでください（上限：Type IAA、375 lb）。



安全に使用するために

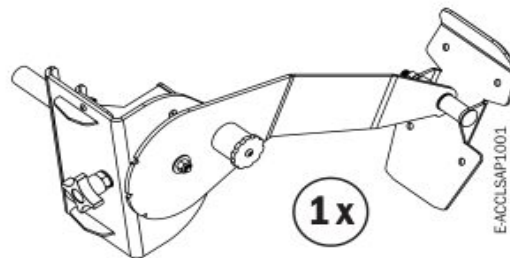
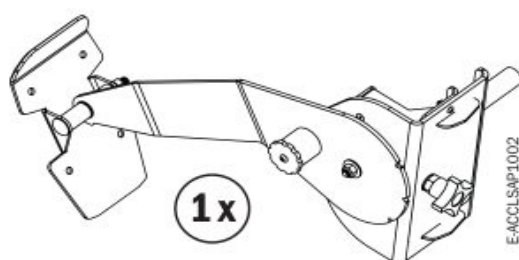
- ・ 安全のため、はしごとスタビライザーのすべての指示および表示に従ってください。
- ・ 体調が悪いときや、医薬品・薬物・アルコールの影響で安全な操作ができないおそれがあるときは、使用しないでください。
- ・ 適用される地域および国の法令に従って使用してください。
- ・ スタビライザーの定格荷重は、はしごの定格荷重を超えてはなりません。
- ・ スタビライザーは、はしごと同じ定格荷重に対応します（上限：Type IAA、375 lb）。踏ざんが中空のはしごに対応していません。
- ・ 使用前に、はしごに記載されたすべての警告および指示をお読みください。
- ・ 使用前に製品を点検してください。破損や部品の欠損がある場合は、使用しないでください。
- ・ 破損や曲がりのあるスタビライザー、またははしごは使用しないでください。
- ・ はしごの支柱は、上部の乗り移り面より少なくとも3フィート上まで伸ばしてください。
- ・ スタビライザーより上の踏ざんや、スタビライザー本体の上に立たないでください。
- ・ 使用前には毎回、スタビライザーがはしごに確実に取り付けられていることを確認してください。
- ・ 高所作業時の安定性と安全性を高めるため、4本のねじでスタビライザーを屋根に固定してください。
- ・ 分解や塗装をしないでください。

写真・図は参考用です。本製品の適切な使用については、適用されるANSI規格および規則を参照してください。

11 組立手順

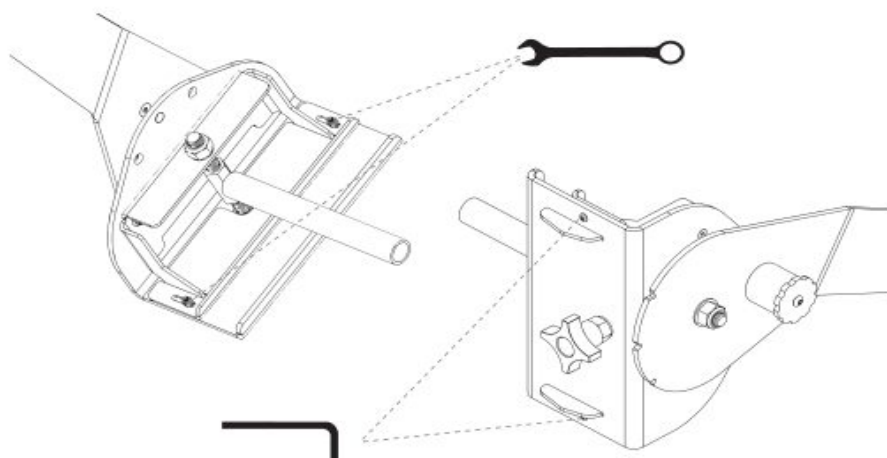
同梱品		
数量	部品番号	品名
1	E-ACCLSAP1002	スタビライザー（左）
1	E-ACCLSAP1001	スタビライザー（右）

取り付けに必要な工具	
	
2.5 mm 六角レンチ	7 mm レンチ



1

指定の工具を使用し、左右のスタビライザーのねじを緩めます（片側2本ずつ）。

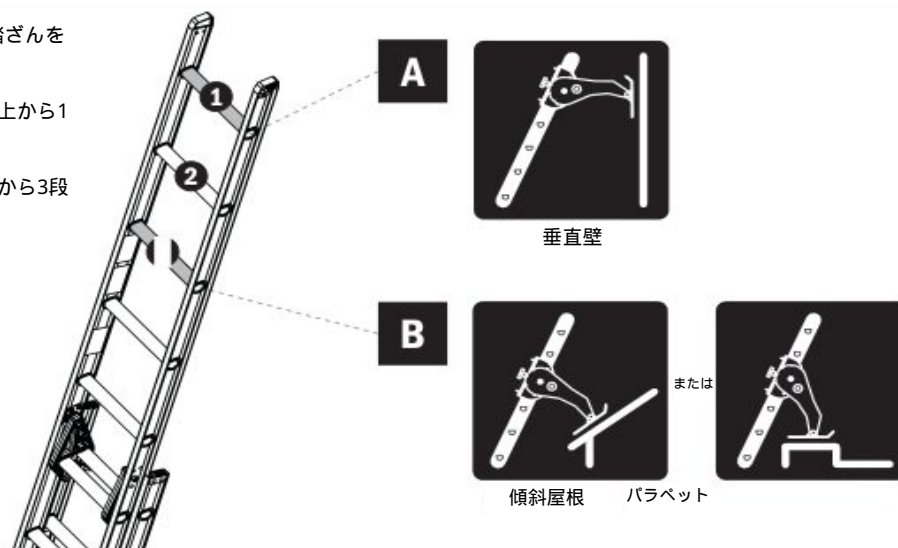


2

はしごの伸縮部で、取り付ける踏ざんを確認します。

垂直壁に使用する場合（A）は、上から1段目を使用します。

屋根に使用する場合（B）は、上から3段目を使用します。

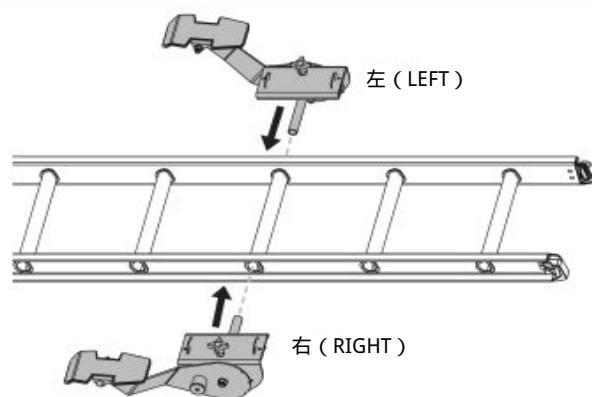


3

はしごを、伸縮部を上にして地面に水平に置きます。スタビライザーは収納位置「0」にしてください（必要に応じて手順6を参照）。

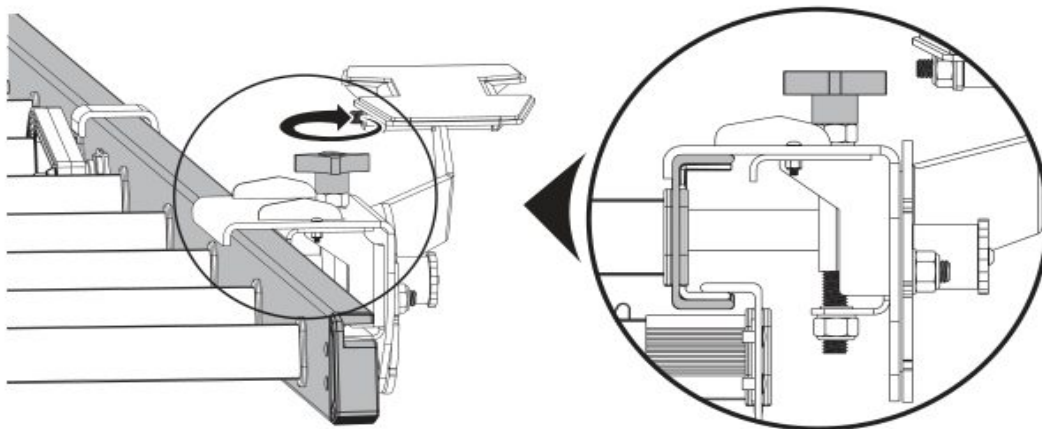
左右それぞれ、取り付け位置の中空の踏ざんにスタビライザーのロッドを差し込みます。

本体の「LEFT（左）」「RIGHT（右）」表示が、はしごを登る向きで正しく読めるよう、左右を合わせて取り付けます。



4

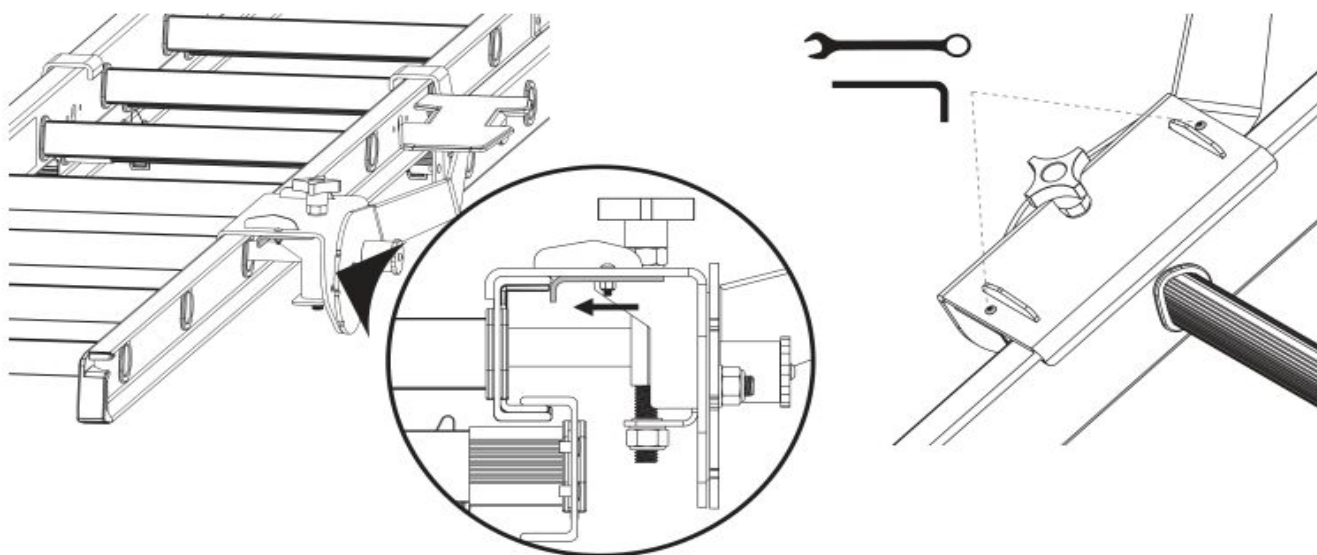
スタビライザーの内側の縁を、はしごの内側の縁に当て、ノブを締めます。反対側も同様に行います。



5

先ほど緩めた可動部品を、はしご支柱の外側面に当たるまでスライドさせます。

指定の2種類の工具で、手順1で緩めたスタビライザーのねじ2本を締めます。反対側も同様に行います。

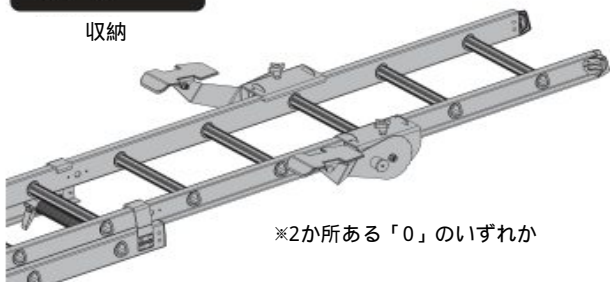


スタビライザーを取り付けたはしごを使用する前に、用途に合わせてアームの位置を調整します。左右両方のスタビライザーを、必ず同じ位置に設定してください。

0



収納



※2か所ある「0」のいずれか

1



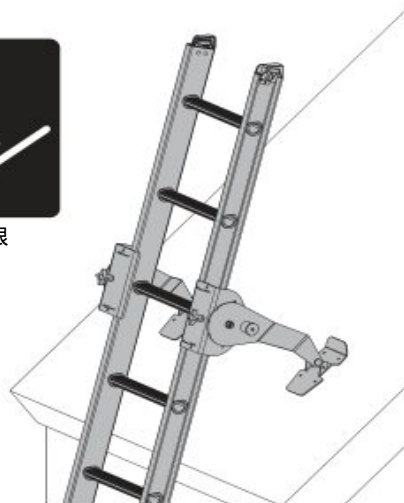
垂直壁



2



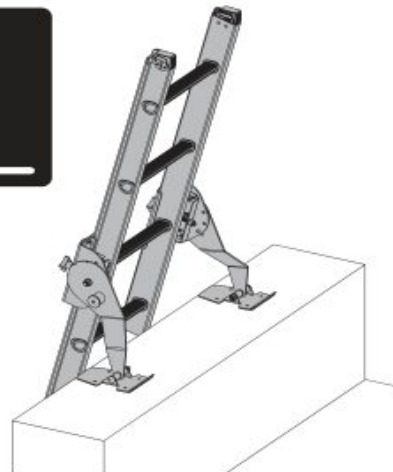
傾斜屋根



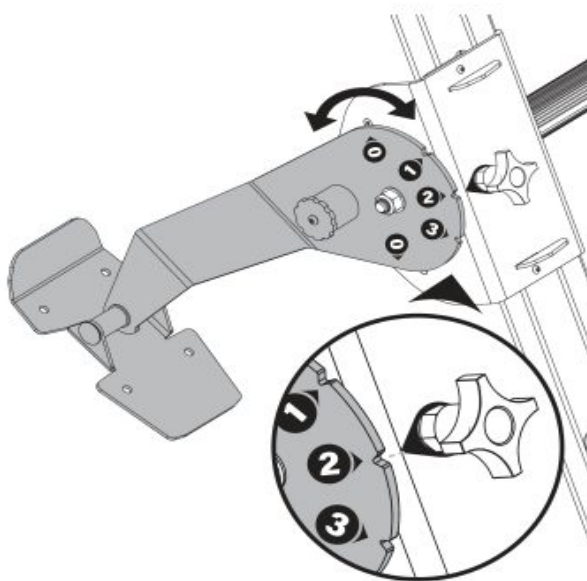
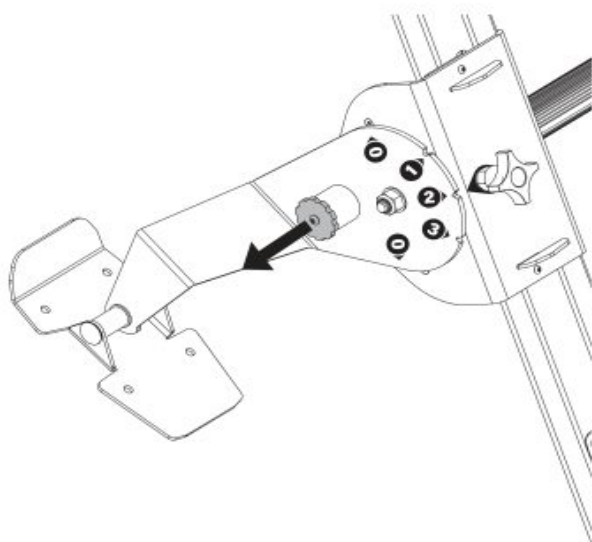
3



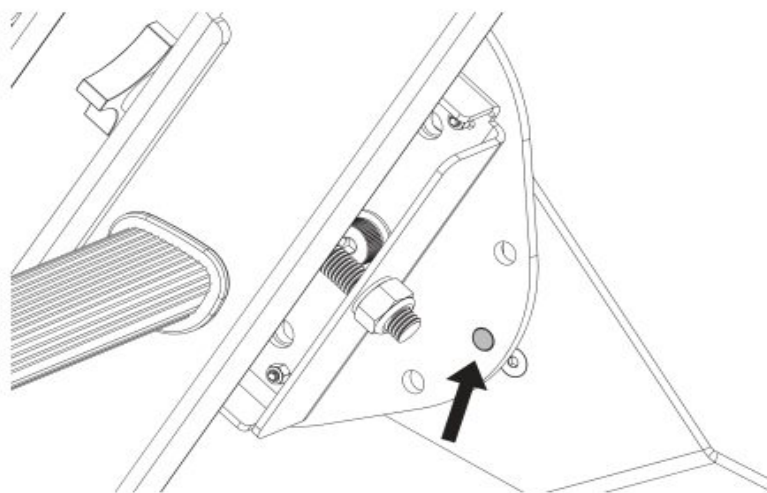
陸屋根・
パラペット
(最小幅:
6インチ)



アームの位置を調整するには、ノブを引いたままアームを動かし、希望する位置の数字を赤い矢印に合わせます。



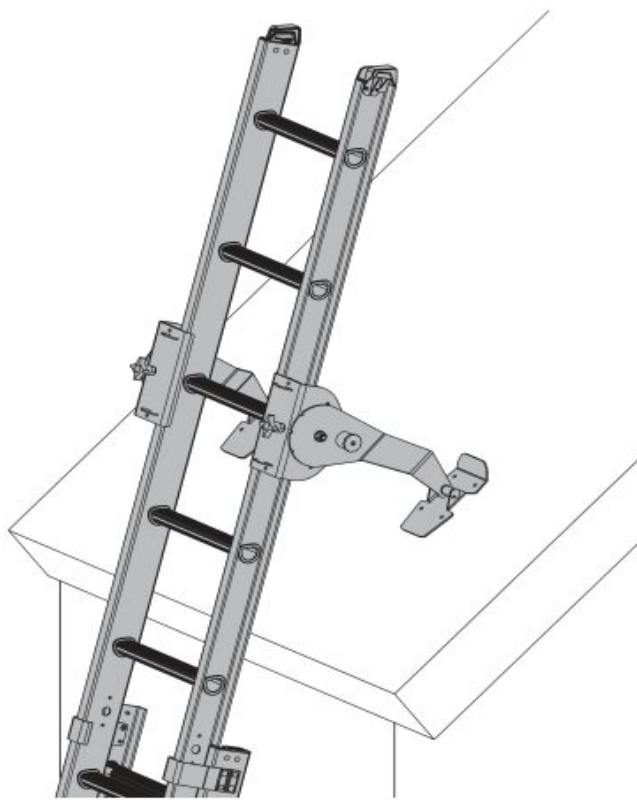
ノブから手を放し、選択した位置の穴にロックピンが完全にかみ合っていることを確認します。



例：スタビライザーを位置2に設定し、ロックピンがかみ合った状態

7

伸縮部が上側になり、下段のはしごを支えられる向きで、はしごを建物に立て掛けます。アームが壁（位置1）または屋根（位置2・3）に接触するように設置します。



例：スタビライザーを位置2に設定したはしご



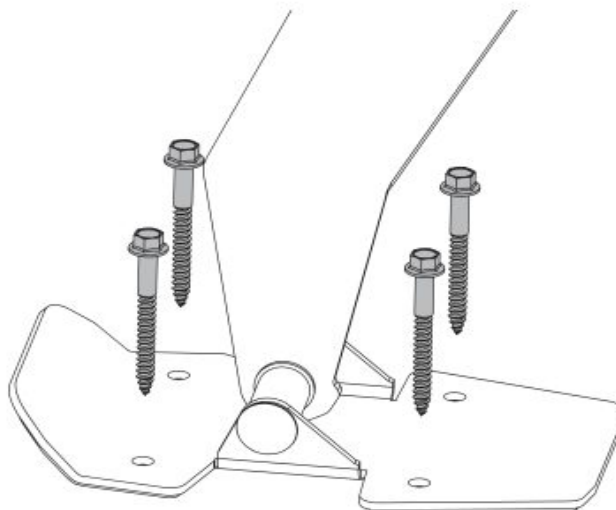
注意

約75°の安全な角度を保つため、「4対1の法則」に従います。高さ4に対して、脚元を壁から1の距離だけ離します。この位置で、使用時に最適な安定性が得られます。



8

高所作業時の安定性と安全性を高めるため、左右両方のスタビライザーの脚部（接地プレート）を、各脚部につき#12ねじ4本で屋根に固定します。



9

スタビライザーを取り付けたまま、はしごを保管・運搬できます。その際は、アームを2か所ある収納位置「0」のいずれかに設定します。

